

令和4年12月2日（金）



県内で新型コロナの第8波が押し寄せている状況下ですが、感染対策を施しながら、本日保護者授業参観・PTA全体会・学年学級部会を予定どおり行いました。

授業参観に先立ち、5・6年生が総合的な学習の時間で取り組んでいるSDGsの学習の一貫として、「くるくるSHOP」を開店しました。お店に掲示してある壁新聞によると、「くるくるSHOP」とは、「不要なものを誰でも置いていくことができ、必要なものがあれば、誰でも100円で持っていくことができるお店」だそうです。隣には、樅地区にあるリユース施設「くるく

るSHOP」を開設した地域おこし協力隊の方の山形新聞朝刊の記事が掲示してありました。記事によると、身近にできるSDGsの取組はないかと考え、ごみゼロ（ゼロウェイスト）を目指すと言っている徳島県上勝町の仕組みを参考にし、樅区民会が町からの助成を受けながら運営しているそうです。

10月4日（火）に樅地区の「くるくるSHOP」を地域おこし協力隊の方に実際に案内してもらい、学んだことを壁新聞にまとめるだけでなく、本日の保護者授業参観の日に学校で「くるくるSHOP」を開くための準備を試行錯誤してきました。

BGMでファンファーレが流れる中、「レディース・アンド・ジェントルマン、カット・ザ・テープ」という進行役の5年生の発声の後、他の5・6年生がテープカットをして開店しました。店内は、3・4年生と保護者で大繁盛する中、5・6年生は交代でレジを担当し、お客様から100円を頂いた後、はかりで購入したものの重さを測り、エクセルシートに入力していました。

壁新聞のあとがきにあるとおり、安く買い物ができ、リユースによってSDGsにも貢献できる一石二鳥の取組を自分たちで実践することができました。

令和4年12月14日(水)



昨日13日(火)の午後6時半から、ホールにて学校保健委員会を開催しました。本来であれば、10月14日(金)に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期していました。会の内容が、子どもたちの健康な生活リズムの保持と情報端末機器(タブレット・スマートフォン・ゲーム機など)の安全な使用について、冬休み中に各ご家庭でご配慮いただきたいことと重なっていたため、あえてこの時期に開催させていただきました。師走のお忙しい中にもかかわらずご参加いただきました学校薬剤師の先生と保護者の皆さまに、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

まず、今年度の生活リズム(はつらつがんばり週間)の取り組み結果と、学校評価の生活リズム、メディア、家庭学習等に関する結果について養護教諭が説明しました。12月2日(金)のPTA全体会で校長から伝えた内容と重なりますが、「学年に応じた家庭学習の取組(時間と内容)や読書」と、「メディア時間を自分でコントロールした健康な生活リズムの習慣付け」が本校の課題であることを伝えました。

次に、メディア機器が子どもの体に及ぼす影響について養護教諭が講話を行いました。ブルーライトは、大人目と違って子どもの目は影響が大きいということ、ゲームやパソコンに夢中になってやり続けると近視が進行しやすくなり、大人になってから緑内障や白内障、網膜剥離などの病気のリスクが高まること、その他姿勢や骨格異常、生活リズムの乱れ、睡眠障害など全身に影響が及ぼすことなどをスライドで説明しました。

最後に演習として、子どもたちのタブレットの「ロイロノートスクール」というアプリケーションを使って、子どもたちの学習を体験してもらいました。

学校薬剤師の先生からは、「よくも悪くも使える道具をどう上手く使うか、インターネットから著作権を考えながら画像を取り込んだり、正しい情報を選んだりする情報リテラシー(情報活用能力)を大人がしっかり勉強し、子どもに教えることが大事。」ということをご指導いただきました。

令和4年12月23日(金)



全国ニュースで話題になるほどのここ数日の大雪により、グラウンドの桜や松の木々の枝が折れてしまいました。3学期からはじまるクロスカントリースキー練習にも影響が及びそうです。そのような中、昨日22日(木)に、15名の子どもたちと教職員が全員そろって、無事に85日間の長い2学期を終えることができました。

終業式の校長の話では、2学期の始業式の際に伝えた「話し合い活動でバランスよく考える力を付ける」という点について、2学期の学習や生活をスライドで振り返りました。話し合い活動を通して、自分たちの生活の中から問題を見付けたり、具体的に何をすればよいのかを考えたりすることができるようになれば、子どもたち一人一人が目標や課題を意識して行動でき

るようになると期待して2学期をスタートさせました。そして、その期待どおり、様々な場面で合意形成を図らなくてはならない場面を経験しました。

例えば、5・6年の総合的な学習の時間では、飯豊町地域おこし協力隊のくるくるSHOPを見学したり、新野農産合同会社の循環型農業を体験したりしたことを、どのようにまとめて表現するか話し合い、「SDGs新聞づくり」に取り組みました。さらに自分たちでSDGsに取り組めることがないか話し合っ、校内でくるくるSHOPを開店したりと、実際に行動に移すところまで探究することができました。

話し合い活動を「他の人の考えを聞くことで、自分の考えを確かなものにしたり、足りないところを補って、新たな考えを創り出したりする場」と考えれば、2学期は話し合いの場がたくさんあったということ子どもたちに気付かせたいと思いながら様々な場面を振り返りました。

3学期は来年度の進級・進学に向けての準備の学期です。よりよい合意形成をする力をつけるために、複式算数など日々の授業を通して、自分の考えと友だちの考えを比べながら聞き、自分の考えを順序よく理由を付けて説明し、話し合いによって深まった考えを書きまとめたり、自分の言葉で振り返ったりできるように「考える力(思考力・判断力・表現力、学習意欲)」を育てていきたいと思ひます。